



教員が研究の楽しさを語る

第197回(7/10)田中 緑先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

質感の科学：知覚・認知メカニズムと分析・表現の技術

著者：小松英彦編

出版：朝倉書店, 2016.10

コメント：質感を科学的に捉えようとする様々な分野の研究をまとめた本邦初の一冊です。

この本では、質感のもとになる物理現象と、それによって心の中に生み出される質感の特性の両方を客観的な方法で示し、それらをつなぐ脳内情報処理の仕組みを明らかにすることで、質感というものを一貫した論理で理解することを試みています。自然界の多様な事物が生み出す変化に富んだ質感や、人類がものづくりの長い歴史の中で追求してきた優れた質感は、私たちの心を豊かにしてくれます。

世界の持つ豊かさの源泉に少しでも近づき、人々が世界をより深く知ることに繋がるきっかけとなる一冊です。



Book2

イラストレクチャー認知神経科学：心理学と脳科学が解くこころの仕組み

著者：村上郁也編

出版：オーム社, 2010.2

コメント：この本では、人間のこころのありようを脳・神経の言葉で解読するために、認知科学、心理学、神経科学、生物学など様々な学問分野を横断する認知神経科学についてイラストを活用して紹介しています。各章では、こころの科学研究史・神経生物学の基礎・研究法・視覚・聴覚・言語・注意・体性感覚・運動・記憶・高次機能・意識・情動について扱っており、基礎から専門的な内容まで幅広く学べる一冊です。

